

# 理研会報

発行 理科研究部  
 印刷 事務局  
 成田市幸町48-1  
 成田小学校

## 新しい年を迎えて

研究部長 飯田和幸

新春を迎え諸先生方には益々一  
 層勝て活躍のこととお喜び申し  
 上げます。

日頃、地域の活動を重視し、そ  
 れぞれ各分野に互に格別のお寄附  
 りをおかけし、教員の発展をおあ  
 げいただき厚くお礼申し上げます。  
 更に年度のまとめに渾身の力を傾  
 倒しよりたしかな歩を止めるよう  
 「努力を期待いたします」。

この七十五年度を迎え飛躍的  
 な科学の進歩が経済の高度成長を  
 うながすと共に地域の姿容をもた  
 らし、幾多の問題を包み、歩みま  
 とめ小康の状況を迎えようです  
 が、郷土の自然を見直し、理科  
 指導を思う所「開発と自然の喪失」  
 の感を深くいたします。地域の具  
 体的教材をもとに自然にふれ生物  
 の姿をとらえる学習の姿は、また  
 この多様化の環境に立をされたこ  
 どもたちの動きかけはどうでしょ  
 うか。「身のまわりの自然を対象  
 とし自然から学ぶ働きかけ」と言  
 びを見出すよう「現時点に立ち  
 家庭と学校と地域社会がこどもな  
 ちの生活に思いをかけ、条件をと  
 とのの地域に即した教育の創造に  
 製作活動を通して

（夏） 地方理科センター講習  
 四街道小 高橋 幸子

この講習会が毎年開かれてい  
 ることは知っているが、なかなか  
 が参加するチャンスに恵まれな  
 かったので、今度の参加は嬉しいも  
 のでした。雑感を羅列的に述べて  
 みます。

生物の成長のとらえ方  
 生物学の児童の記録を参考にし  
 て具体的な説明があり児童の発達  
 に即した観察の観点がはっきりし  
 てきました。成長の過程をどんな  
 データーで、どのように処理をし  
 たら効果的か考えながらグラフを  
 書いたことが印象に残っています。  
 測定と記録のとらえ方  
 ホウ酸の溶け方や食塩のとけ方  
 を実験しながら、その時々大切  
 なポイントを指導していただき参  
 考になりました。

製作活動を通して  
 余電話、東映用分割レンズの二つ  
 の教員を作ったのですが、活動を  
 通して工夫していく楽しさと充分  
 味わうことができました。講師の  
 先生自身、余の太さ、材質等々次  
 マに湧いてくるアイデアをもとに  
 これで好む…こんどは…と追求  
 していらっしやる姿を拝見してい  
 て、子供達に創造性を育てるのに  
 は理屈つて並べるよりも実践する  
 ことの方が大切だと思えました。  
 自作教具は準備も大変です。そ  
 のためのがけの努力も見のがせな  
 いと思えます。手先ぎの不審用な  
 私にとって言しかつたのですが参  
 照もままを格別でした。

## （秋） 教研集会に参加して

下志津小 佐藤 光広

教員生活二年目、無我夢中です  
 としてきた日々であった。しかし  
 一年目とはかく教員の年間行事  
 を知ることだけで精一杯という感  
 じであったが二年目になると行事  
 に参加するのにもある程度の心積  
 えらしきものができてきたような気  
 がする。教研集会の内容もやっと  
 どんなことなのかが少しは理解で  
 きるようになった。そんな時、部  
 会提案者になつてくれとの話があ  
 り一瞬とまどつたが理科に新しい  
 風を吹き込むという意味で引き受  
 けることにした。

当日発表時間を多少オーバーし  
 たがどうにか発表を終え、他部会  
 の提案をゆとりをもつて聞くこと  
 ができた。

四部会の化学変化に伴う熱概  
 念の導入、二部会の理科評価に関  
 する提案、三部会の化学教材を中  
 心とした実験の検討、算、数年間  
 連続の研究のつみがさねを知り、  
 教員の使命の大切さ、教材研究の  
 大切なことを身をもって感じた一  
 日であった。

また、私は小学校の理科の学習  
 が中学校までゆき、どう広まり深  
 まっていくか、小中合同の発表会  
 で学ぶことができたのも、教研発  
 表会に参加した意義があったと思  
 う。

## 自主研修

蝶を求めて

実住小 中井 貞蔵  
 クモバニヒカゲ・ヒメアカタ  
 テハ・イチモンジ・コムスジ…  
 これらは蝶の名である。

車五台をつらね総勢十九名が長  
 野県入笠山へ蝶採集に出発した。  
 前日、日光での採集が成功であ  
 ったためか、参加者も蝶の車も二  
 台ふえてしまった。

採集地入笠山に着いたのは九時  
 三十分、ちよと蝶の飛び舞うと  
 きであった。

「こんなところまで来て、採れ  
 るかしら」  
 と心配している先生方もいたが  
 その心配もふくまはす蝶の群れ  
 仕度ですすめ捕虫網を手に各自  
 珍しい蝶を捕つて消えてしまふ。

以前、千ヨウの習性について聞  
 いたことが思い出される。  
 ・アゲハ属の千ヨウには「千ヨウ  
 道」といって、千ヨウの通り道があ  
 る程度までまわっているとか。  
 ・タテハ属（スミナガシ・フジヤ  
 フチヨウ）は一度捕虫に失敗して  
 も、手を飛びたつた近くには舞いも  
 どつてくるとか。

ウラギンシジミなどはものぐさ  
 さつた近くに集りやすいとか…  
 食草との関係もあるうが…  
 る千ヨウの習性を知り、採集す  
 るよい機会でもあった。

午前中ウラギンヒヨウモンを一  
 匹に追いかけ、交尾中の一對を採

ることに専念する一方手をたらし  
 たい捕蝶し教員にしようと思ひ、  
 なかでも黒っぽい、ひとさわり  
 をひくスミナガシ（タテハ科）が  
 現われたとき、ある先生は目を  
 がせ新種でも発見したような喜び  
 ようであった。

採集も終りに近づき、全量採集  
 した成果をひろうすることにむ  
 だ。

○シマノメ科  
 ・クモバニヒカゲ・ジマノメチ  
 ヨウ・キマダラヒカゲ  
 ○タテハ科  
 ・ルリタテハ・ヒメアカタテハ  
 ・アカタテハ・コムスジ・イチモン  
 ジ・ウラギンヒヨウモン・スミナ  
 ガシ

○シロチヨウ科  
 ・スジボソヤマキチヨウ・ヤマキ  
 チヨウ・キチヨウ・モンキチヨウ  
 ○シジミ科  
 ・ミドリシジミ

これらの蝶は現在八街小、中尊  
 校のいずれかの理科室で児童の  
 にとまわっていることだと思ふ。

あとがき  
 ○会報発行がしばらくとぎれてい  
 ましたが77号をおとどけしませう。  
 ○五十年度の長期研修生は印備外  
 ら六名の合格者ができましたが理  
 科部門から二名合格しました。

福田 健児生（佐一）  
 徳田 進児生（成田小）

○研究テーマ等さまじり及才お知ら  
 せします。